

生徒・保護者・地域と心の通い合う学校づくりに向けて

生徒たちが落ち着いて学校生活を送ることができるよう、人と人がつながり合うことにより心を通わせ互いの信頼関係を構築することや、学校生活の大半の時間を占める「授業」の質を高める取組を行うことなどに力を注ぎ生徒たちの健やかな成長につなげる。

家庭との連携

- ① 「開かれた学校」づくり
- ② 「一中スタディ」の拡大を検討
- ③ 挨拶運動の拡大を検討
- ④ 環境整美活動の実施を検討

教員の資質の向上

- ① 徹底した生徒理解
- ② 生徒との信頼関係構築
- ③ 規律や規範指導
- ④ 授業規律の確立
- ⑤ 「分かる授業」の創造
- ⑥ 研修機会の充実

具体的取組例

- ・ 保護者に学校での生徒の様子を参観いただいたり、来校時に保護者の思いや学校としての考えを共有する。
- ・ 地域や保護者と生徒がかかわる機会を多くもち、自尊心、自己肯定感を高める。
- ・ 校内環境をよくすることで生徒の心身の安定と規範意識の醸成を図る。
- ・ きめ細かい観察を通じて気付いたことを通信や家庭訪問等により、生徒や保護者に返す。
- ・ 生徒との二者懇談や生徒アンケートを行い、一人一人の言葉に耳を傾け、気持ちを汲み取る。また、生徒の不安や悩みを共感的に理解する。
- ・ 授業アンケートを行い、授業における生徒の「困り感」を適切に把握し、一人も生徒を取りこぼすことのない指導を目指す。
- ・ 校外から講師を招いた職員研修を継続的に実施する。また、教員同士が互いの授業を見合い、相互批判する中で授業力の向上を目指す。